

会 議 録

会 議 名	武蔵村山市環境審議会
開 催 日 時	令和4年1月26日（水）（午前10時～午後0時）
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：佐々木善男委員、竹中輝和委員、栗原誠委員、長瀬雄一郎委員 福島謙委員、尾崎寛直委員、高山充則委員、永田雅之委員 （出席者計8人） 欠席者：尾川和広委員、上中章雄委員 事務局：環境課長、環境課係長、環境課主事（環境保全係） （事務局計3人）
議 題	1 令和2年度武蔵村山市第二次環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）の環境指標及び環境施策の点検・評価について 2 その他
配 布 資 料	（当日配布） ・ 次第 ・ 武蔵村山市環境審議会委員名簿 ・ 武蔵村山市環境基本条例 ・ 武蔵村山市環境審議会規則 ・ 武蔵村山市環境審議会の会議の公開に関する運営要領（事前配布） ・ 令和2年度武蔵村山市第二次環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案） ・ 武蔵村山市第二次環境基本計画（平成28年度～令和7年度）
結 論	議題1：市長からの諮問を受けて、環境審議会委員が「令和2年度武蔵村山市第二次環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）」の事業実施報告及び重点的取組実施報告について審議した。結果、点検・評価が全て終了したため、後日、市長へ答申することとした。 議題2：特になし。
審 議 経 過	議題1 令和2年度武蔵村山市第二次環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）の環境指標及び環境施策の点検・評価  【説明要旨：令和2年度武蔵村山市第二次環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）を参照】  ● 令和2年度武蔵村山市第二次環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）の内容と評価について説明。  【主な意見等】  <b>施策の柱1 みどり等との共生</b>  ○ 8ページ環境施策の方向と市の取組の2段目「保存樹木・樹林の保全に努めます」では保存生け垣が1件解除されている。 延長を目的としているのに、なぜ解除となってしまったのか。

- 生け垣が枯れてしまい、解除となった。  
新たに生け垣にするには時間がかかる。  
最終的には所有者の判断となるが、市では再び生け垣にさせていただきたいと考えている。
- 11ページの生物多様性の確保について、情報収集し提供すると記載があるが、どのように収集して、提供するのか。  
狭山丘陵の生き物が多様なことについては承知している。  
アライグマなどはどのくらいの頻度で繁殖して、どのように駆除していかなければならないのか、把握と情報提供はしているのか。  
しているのであれば、どこで確認できるのか。
- 全ての動物の種類は確認していないが、都立野山北六道山公園のインフォメーションセンターと定期的に情報交換をしている。  
今後、生物多様性地域戦略を策定する際に、動物の生態等について詳細を記載していきたい。  
アライグマについては、ハクビシンも含めて、現在、市で50頭以上捕獲している。  
主に青梅街道より北側の狭山丘陵側の住宅が多いが、立川市との境の大南方面でもハクビシンが出没している。  
立川市等でも目撃情報がある。  
全国的な問題となってきている。  
アライグマは根絶、ハクビシンは頭数制限をし、生活被害が及ぶ前に対策しようという考えである。  
平成29年度から始めているマライグマ・ハクビシン対策については、防除した実績をマップ化しホームページに掲載している。  
今後も地道に対策を進めていきたい。
- 8ページの環境施策の方向と市の取組「公園の整備の推進に努めます」について、評価がAとなっているが、どのような理由から評価をAとしたのか。
- まちづくり条例に基づき3,000㎡以上の宅地開発では子どもたちの憩いの場となるような施設を設置することが規定されている。  
このように、一定規模以上の開発がない限り、施設の設置には至らない。  
ある意味義務であるのに評価をAとしたのかという思いもあると思うが、貴重な施設として児童遊園が設置されたので、評価をAとした。
- 10ページの環境施策の方向と市の取組の「多様な農の担い手の育成に努めます」について、評価をAとした理由はなにか。
- 農園の利用者については、伸び悩んでいた傾向にあった。  
農業委員会でも苦労しながらPRをしていた。新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛生活も重なり、農園利用者が増加したのもあるが、利用者が増えたことで今後につながることもあるので、評価をAとした。  
単純に前年度より利用者が増加したためではなく、所管課の努力の成果が感じられたので評価をAとした。

- 先日市報にわかな農園以外の募集掲載があった。  
農園の規格も大きく良い場所だと思われる。  
農地の所管部署とは異なるのかもしれないが、新たな市民農園ができたのであれば、情報として掲載すべきではないか。
- 報告書に掲載する実績としては令和2年度のものになるため、今年度新規のものについては、次年度の報告書への掲載を検討する。
- 武蔵村山市は学校給食の食材に地場産率が高い。しかし、まだ増やせる可能性は高い。  
現在は1,000万円から1,500万円程の食材を納めているが、課題が煮詰まっているので、それをクリアすれば、更に5,000万円程まで増やせることができそうである。  
そうすれば、農家の方も生き甲斐を感じることができ、農業で生計を維持することができるようになるのではないか。  
そのために、学校給食の食材等で活用する等、もっと市に努力してもらいたい。
- 若い農業者も新選組を通じて学校給食に生産野菜を納めている。  
農業で生計を維持するために、新しく新選組に入会する方もいる。  
野菜によっては、学校給食センターの作業場の関係で、納められないこともある。
- 目標設定が量ではなく、種類を増やすとあるのは今後の課題とし、検討する必要があると思われる。

## 施策の柱2 エネルギーの有効利用

- 14ページの環境指標「公共施設等におけるエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量」については、昨年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設が閉鎖になった影響によるものなのか、それとも減少傾向に進んでいたということなのか。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設の閉鎖の影響もあるが、地球温暖化対策実行計画の取組結果報告を取りまとめる際に、仮ではあるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設の閉鎖がなかった場合の実績についても検証し、結果として目標を達していたので、評価をAとした。
- それはどういう要因からか。
- 主な要因としては、設備更新の際に使用燃料をエネルギー効率が高いものに切り替えた（例えば重油を使用していたものを都市ガスに切り替える等）、また、電力の調達の際に温室効果ガス排出係数が低い電力会社と契約していたことなどが挙げられる。
- 環境基本計画31ページに平成26年度の現状に3,596,676.32kg-CO<sub>2</sub>とあるが、令和2年度は4,233,496.38kg-CO<sub>2</sub>と増加しているが、目標を達成していれば評価をAとしているのか。

- 第二次環境基本計画を策定した際は、第二次地球温暖化対策実行計画であった。

第二次地球温暖化対策実行計画では指定管理者を置いている施設を除いて策定していた。

途中から第三次地球温暖化対策実行計画に替わり、指定管理の施設も含むこととなったため、目標が大きく変わった。

以前は、年次報告書に第二次地球温暖化対策実行計画と第三次地球温暖化対策実行計画に基づく実績をそれぞれ掲載していた。

第三次地球温暖化対策実行計画は施設数が増えているので、目標も大きく変わったのが理由の一つである。

- 16ページの環境指標、乗合タクシー「むらタク」の利用者数について、目標に達していないためC評価ということだが、この取組については交通弱者に対してニーズがあるとして設定した施策だと思うが、実績が伴わないとなると、ニーズとの不一致なのか、交通ルートが問題なのか、運行回数が少ないからなのかなど、要因がいくつかあると思うが、教えていただきたい。

- 利用者数については、月に複数回利用する利用者がいたが、その方が転居あるいは亡くなられたことによる減少が1つの要因と考えている。その他の要因については、現時点でははっきりしていない点があるため、利用者へのアンケート等を実施し、課題を抽出していきたいと考えている。また、利用増加に向けて、「むらタク」の周知を進めていきたい。

- 「むらタク」の利用者数が基準年より減少しているが何が理由なのか。

- 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したと考える。

- 16ページのグリーンカーテンについて、令和元年度からは休止しているということで評価をCとしていると思うが、この先の見通しは立っているのか。

- 以前は、東京都のみどり東京温暖化防止プロジェクトの助成金と、植物の種をもらい、配っていた。

毎年種を受け取られる方に同じ人が増えてきたこともあり、周知はできていると判断した。

今後についてはホームページでどんな野菜がグリーンカーテンになるのか、自宅でも栽培できるものを掲載していきたい。

計画から外れるというわけではない。

### 施策の柱3 4Rの推進

- 18ページの最終処分量がAとあるが、令和2年度の段階で既に達成している。

第二次環境基本計画の改訂版でも同じ目標設定としているのか。

- 第二次環境基本計画の改訂版の中では、数値目標ではなく、一般廃棄物処理基本計画という、平成30年度から令和9年度までの新たな目標にしたがい、モニター指標としている。  
その中で、成果を評価していくことになる。

- その意味は、かつて掲げた1,700という数字を元に出していれば、最終処分場との関係はクリアということか。  
増えないようにモニタリングをすればいいという考え方か。

- 所管課に確認する。

- 評価の指標がわからない。  
18ページのリサイクル率については、基準年より上がってしまったから評価をCとしたということか。  
目標に対しての評価なのか。  
基準年に対して、下がっているか、上がっているか、基準年の数値は評価に影響しないということなのか。

- 指標において基準年に対し目標を設定しており、目標に達していれば評価をBとし、さらに努力を続けられていけば評価をAとする。  
今回は目標に達していないので評価をCとした。

- 来年度からは、第二次環境基本計画の改訂版になるので、目標値も変わってくる。  
改訂版を見ると、目標が660となっている。  
そうすると、さらに目標から遠ざかる。さらに、ハードルが上がっている。

#### 施策の柱4 生活環境の保全

- 24ページの指標、クリーン作戦について、クリーン作戦は中止だが評価をBとしているのはなぜか。

- 市の政策として、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベントは中止となった。昨年環境審議会の中でも、話題となったが、やむを得ず中止となったのであれば評価をBとするのが妥当なのではないかとの結論となった。

- 評価の対象外ということではないのか。

- 例えば、市では「出前講座武蔵村山塾」という市民を対象とし所管課が説明を行う市民講座があり、依頼を受けて講座を開く。  
申し込みがないと講座を開けないため、準備はしていたが実施できないものは仕方ないという判断で評価をBとしている。  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できない事業についても同様と捉え、評価をBとした。

- 22ページと23ページ、横田基地の航空機騒音について、23ページでは騒音防止の要請を多く行っているようだが、22ページの航空機騒音測定値では評価をAとしており、騒音値も44.5dBとなってい

る。これは静音に近い数値だが、測定中たまたま静かだったのか。

- 市内第十小学校に騒音測定器を常設している。  
その結果はL d e nに換算し、表記している。  
瞬間的な航空機の音では、とても大きな音となる。  
これをL d e nの式に当てはめて1か月の平均を出すと、基準値を下回る結果となる。
- 23ページの野焼きについて、評価をBとしている。  
苦情を受け、それに対して改善指導を行ったとあるが、評価をBとしているが、どうなったら評価をAとするのか。
- 環境基準は保たれて当たり前なので、評価をAにするのは難しい。  
農地におけるくん煙処理については環境確保条例でも例外的に認められているが、市民から苦情を受けると指導対象になってしまう。  
農地でものを燃す場合には事前に近隣住民にチラシ等で周知するなど、また、多摩開墾にも野焼きに関する看板などを掲げるなど、一歩進んだ対策ができれば評価をAとすることができるのではないかと考えている。
- 苦情の問い合わせの件数があると思うので、それを毎年減らすなど、数値的に考えたほうが良いのではないか。  
先程の騒音の話でも、ならしたら下がるだろうなどというのはわかる。静かなことの方が多いので、飛行機を飛ばす回数を減らすなど、数値で捉え、それを減らしていくほうが明確なのではないか。  
第三次環境基本計画策定の際に反映したほうが良い。  
わかりやすい指標にしたほうがいい。
- 横田基地の飛行は主に物資輸送だと思われるが、事変が起きた際は、飛行機が頻繁に飛ぶ。  
そのような場合はどのように評価を行うのか。
- その場合は、先ほどから市が新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する話をしているので、事変が起きた場合は、こういう状況で飛行機が沢山飛んだ、頑張ったけど、評価をBとするかCとするかどちらにしようでいいと思う。  
このように、まず指標を立てることが大切で、いかにわかりやすい指標にするかが重要であって、そこを目標にしないと。
- 同感である。市民が見たときにわかりやすい目標設定が大事である。  
行政の裁量で評価をされると、市民からしたらなにをもって評価しているのかという話になる。  
可能な限り数値化していくことが重要であると思う。

## 5 重点的取組実施報告

- 東京都の中でも自然が豊富で、狭山丘陵や都立野山北・六道山公園は武蔵村山市が誇っている場所。  
少し丘陵を登れば多様な生き物がおり、東京サンショウウオやホタルもいて、オオタカも飛んでいる。

